

公益財団法人軽井沢美術文化学院

平成 29 年度事業計画書

1. 美術館の運営

同時代に生きた芸術家

「ル・コルビュジエと西村伊作」

坂倉準三・ユリへのつながり

オマージュ ル・コルビュジエ「直角の詩」による坂倉ユリ制作タピストリー

2017年6月10日(土)～11月5日(日)

(1) 企画展

2016年7月に上野の国立西洋美術館が「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献」として世界遺産に登録されました。これを機に、当館ではル・コルビュジエ(1887～1965)の世界遺産に登録された建築作品7か国、17点と我が国近代住宅の先駆者西村伊作(1884～1963)を中心とした企画展を開催します。

両者は、建築において作風、活躍した時期などは異なりますが、共に1880年代から1960年代までの同時期に生き、建築の専門教育を受けずに時代の精神を先取りし、大きな業績を遺している事や、画家としての側面も持っている事など、共通点を多く有しています。

両者の絵画については、西村は大正初期に新進の画家として石井柏亭により広く紹介されるなど、新しく勃興しつつあるこの期の美術運動の一翼を担うほど絵画に注力しました。コルビュジエも最初、画家として立とうと考え、建築の仕事が忙しくなった後も1日の半分はキャンバスに向かいました。彼は自身の絵画作品を強く社会に発信しようとはしませんでした。が、「自分の建築は絵画という運河を通ってきた」と自身の絵画の重要性を述べています。

今回展示する両者の絵画作品は、西村については彼が最も絵画に情熱を注い

でいた大正初期のものが中心となっていますが、一方コルビュジェについては彼の弟子で、国立西洋美術館の設計に関わった坂倉準三に送られた絵画と、準三の妻ユリ（西村伊作次女）によるコルビュジェの詩画集「直角の詩」よりのタピストリー作品です。

この企画展が、多面的な側面を持つ両者への理解がより深まれば幸いです。又彼の事務所で学んだ坂倉準三の作品も併せて展示紹介いたします。

〈第1室〉

- ・挨拶文
- ・西村伊作に関する展示
生い立ち、住宅、絵画、陶芸、教育—文化学院
- ・建築模型
- ・展示台一本、スケッチ、他

〈第2室〉

- ・紹介文
- ・「直角の詩」よりのタピストリー 坂倉ユリ制作 19点（額装）
- ・解説文、1枚ごとの説明、
- ・展示台—「直角の詩」の本、ロンシャンの教会の写真、ストーラの解説、原物展示

2001年の青山学院ギャラリーでの展示写真、 ユリ制作中の写真他

〈第3室〉

- ・ル・コルビュジェに関して、世界文化遺産の17の建物の紹介
世界遺産に登録されたのは、日本、フランス、ドイツ、アルゼンチン、ベルギー、インド、
スイスの7か国にある住宅や工場、礼拝堂など17の建築物の写真と説明でパネルにして、展示、説明文。
- ・「国立西洋美術館」に関しては、詳しく図面、写真、などで解説。
- ・1955年にコルが来日した時の準三との写真—桂離宮、鎌倉近美、など数枚。
- ・展示台①—準三がコルビュジェのアトリエに居た時の写真、
1937年の万博グランプリの紹介、日本館の写真、
（準三のパリでのスケッチ画—パリの公園、スイス学生会館、サンクール寺院遠望他

8) [八知先生を偲ぶ会]

7月1日(土)

(3) サマーコンサート

- ① 7/22(土) 日渡奈那 (Guitar) /高橋明日香 (Recorder) デュオコンサート
- ② 8/06(日) 近藤和花 ピアノコンサート (第10回)
- ③ 8/12(土) ボサノバ/サパトス (木村純・三四郎) (第14回)
- ④ 8/20(日) 林 正樹 (Piano) /純名里沙 (Vocal) デュオコンサート (貸し)
- ⑤ 8/26(土) 「一噌幸弘 和の笛・洋の笛・音楽の旅」 (第6回)
一噌幸弘 (能管・篠笛他) /高木潤一 (ギター) /勝海登 (シテ方) /吉見征樹(タブラ)

～・～

- ② ④ は 開場：17時、 開演：17時半
- ③ は 開場：18時、 開演： 18時半
- ⑤ は 開場：16時半、 開演： 17時
- ① ②⑤は軽井沢ペット福祉協会のチャリティーコンサートとして、一部を協会に寄付致します。

3. 学生寮の運営

本年度も文化学院在校生、卒業生および学院関係者の研修の一環として、宿泊、食事、セミナーの場を提供する。

4. ショップ・カフェの運営

1) 本年度は従来の商品に加え、今年度の企画展のメインであるコルビジェ関連グッズを販売する。ショップ

2) カフェ

美術館庭園の雰囲気、癒しの空間として来館者にアピールし、また、値段、味ともに評価された結果、毎年着実に来場者が増加してきました。28度の見込みは2,750,000程度が見込まれ、29年度もほぼ同額の売り上げを見込んでいます。40台程度の車を駐車できる駐車場とカフェのバリアフリー化も完成しており、スタッフの教育を強化してサービス面の向上を図ってまいります。

5 その他、

1) 他の団体への寄付

新宮の西村記念館については、本年度も引き続き維持、保全のための寄付を継続する。また1 昨年同市が保全のために購入した西村伊作が建築したチャップマン邸についても、維持、保全のための寄付を継続する。

2) 多目的ホールの建設計画

隣接地の買収は不調に終わったが、駐車場用地を賃借し駐車スペースが拡大したので現在の駐車場スペースに懸案の多目的ホール建設するための具体化に向けての準備に入る。

以上